

青森県立美術館 映画上映

「特集・北野武」

「成瀬巳喜男」

©2007 ハンズ・イン・メディア TOKYO FM 電通 TV朝日/オアシス北野 ©2007 Festival de Cannes-Eizavir Films All Rights Reserved.

写真提供：一般社団法人映画制作文化協会

7/4
7/5

7月4日(土) / 7月5日(日)
10:30~ 13:20~

キッズ・リターン

(1996年 / 108分 / カラー / 35mmフィルム上映)
出演:金子賢、安藤政信、森本レオ、山谷初男、柏谷亨助
大家由祐子、寺島進、モロ師岡、北京ゲンジ、芦川誠
津田寛治、平泉成、大杉漣、下條正巳、丘みつ子、石橋凌
監督・脚本:北野武
©1996 バンダイビジュアル / オフィス北野

高校生悪ガキコンビの挑戦と挫折



18歳のマサル(金子賢)とシンジ(安藤政信)は二流進学校の落ちこぼれ。いつもつるんで行動し、学校をサボっては自由に振る舞う毎日を送っていた。ある日、以前カツアゲした高校生が助っ人に呼んだボクサーにのされてしまったマサルは、毎日ボクシングジムに通い始める。マサルに誘われ、シンジも入門することになるが…。

7月4日(土) / 7月5日(日)
13:20~ 10:30~

菊次郎の夏

(1999年 / 121分 / カラー / 35mmフィルム上映)
出演:ビートたけし、関口雄介、岸本加世子、吉行和子、鷹赤兒
細川ふみえ、グレート義太夫、井手らっきよ、ザ・コンボイ
監督・脚本:北野武
©1999 バンダイビジュアル・TOKYO FM・日本 Herald 映画 / オフィス北野

母親探しの旅に出た少年のロードムービー



楽しい夏休み、でも小学3年生の正男(関口雄介)の心はちっとも弾まない。そこで正男は、遠くの町にいる母に会いに冒険旅行を決意し、絵日記と僅かな小遣いをリュックに詰め、家を飛び出す。そんな正男の気持ちを知った近所のおばさん(岸本加世子)が、夫で遊び人の菊次郎(ビートたけし)を同行させることに…。

7/11
7/12

7月11日(土) / 7月12日(日)
10:30~ 13:20~

その男、凶暴につき

(1989年 / 103分 / カラー / 35mmフィルム上映)
出演:ビートたけし、白竜、川上麻衣子、平泉成、岸部一徳
監督:北野武
脚本:野沢尚
©1989 松竹富士

監督・北野武の誕生、衝撃の第1作



ある殺人事件を追う一匹狼の刑事・我妻諒介(ビートたけし)は、青年実業家・仁藤(岸部一徳)と、我妻の親友でもある防犯課課長の岩城(平泉成)にたどり着く。自殺に見せかけられあっけなく死んでいく岩城を事もなげに闇に葬ろうとする警察、犯罪組織の首領・仁藤、彼らに対して我妻は自らの凶暴さで戦うしかなかった…。

7月11日(土) / 7月12日(日)
13:20~ 10:30~

ソナチネ

(1993年 / 94分 / カラー / 35mmフィルム上映)
出演:ビートたけし、渡辺哲、勝村政信、寺島進、大杉漣
監督・脚本:北野武
©1993 松竹株式会社

「キタノ・ブルー」から滲む死生観



ヤクザ稼業に嫌気が差している幹部・村川(ビートたけし)は組長からの依頼で、弟分の片桐(大杉漣)やケン(寺島進)ら連れて、沖縄での抗争の手助けに行く。村川を待っていたのは、敵対する阿南組の襲撃。抜けるような青い空と海、照りつける太陽の下、逃げ場を失った村川は、ただひたすら(死)に向かって突き進む…。

7/18
7/19

7月18日(土) / 7月19日(日)
10:30~ 13:20~

HANA-BI

(1997年 / 103分 / カラー / 35mmフィルム上映)
出演:ビートたけし、岸本加世子、大杉漣
寺島進、白竜、渡辺哲、薬師寺保栄
大家由祐子、芦川誠、逸見太郎
監督・脚本・挿入画:北野武
©1997 バンダイビジュアル・テレビ東京・TOKYO FM / オフィス北野

ヴェネチア国際映画祭金獅子賞 受賞



刑事の西(ビートたけし)は、同僚・堀部(大杉漣)の好意に甘え、張込みを彼に任せ、数カ月前に幼い子供を亡くし失意のまま体調を崩していた妻(岸本加世子)を病院に見舞っていた。妻とは「話す」という習慣がいつしか失われていた。病院で西は、妻が不治の病で末期にあること、そして、堀部が撃たれたことを知る…。

7月18日(土) / 7月19日(日)
15:45~ 15:45~

それぞれのシネマ

(2007年 / 114分 / カラー / ブルーレイ上映)
製作国:フランス 原題: chacun son cinéma

©2007 バンダイビジュアル TOKYO FM 電通 TV朝日 / オフィス北野
©2007 Festival de Cannes-Elzévir Films.All Rights Reserved.

特別上映



北野武監督作品「素晴らしき休日」より



アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトウ監督作品「アナ」より

県内初上映!世界の巨匠32組による短編集

カンヌ国際映画祭が60回目の開催を迎えた2007年。映画祭は、カンヌの歴史を彩ってきた世界の著名な監督たちに短編制作を依頼。「あなたにとって“映画館”とは何か」をテーマに、名匠32組の監督が【3分間】で制作した作品集。日本からは北野武監督が『素晴らしき休日』で参加。それぞれの監督が見せる視点の違いも楽しめる1本。

参加監督 (カッコ内は国名・代表作) 北野武(日本・「HANA-BI」) / アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトウ(メキシコ・「バードマン あるいは(無知がもたらす予期せぬ奇跡)」) / ウォン・カーウアイ(香港・「恋する惑星」) / チャン・イーモウ(中国・「初恋のきた道」) / チェン・カイコー(中国・「さらば、わが愛 / 覇王別姫」) / アキ・カウリスマキ(フィンランド・「過去のない男」) / アツパス・キアロスタミ(イラン・「友だちのうちはどこ?」) / デヴィッド・リンチ(アメリカ・「イレイザーマン」) / ロマン・ポランスキー(ポーランド・「戦場のピアニスト」) / ガス・ヴァン・サント(アメリカ・「グッド・ウィル・ハンティング 旅立ち」) / ラース・フォン・トリアー(デンマーク・「ダンサー・イン・ザ・ダーク」) / ヴィム・ヴェンダース(ドイツ・「ベルリン・天使の詩」) / テオ・アングロプロス(ギリシャ・「永遠と一日」) / ジェーン・カンピオン(ニュージーランド・「ピアノ・レッスン」) / クロード・ルルーシュ(フランス・「男と女」) / マノエル・デ・オリヴェイラ(ポルトガル・「クレウヴの奥方」) / ナンニ・モレッティ(イタリア・「息子の部屋」) / ジャン＝ピエール&リュック・ダルデンヌ(ベルギー・「ある子供」) / デヴィッド・クローネンバーグ(カナダ・「ザ・フライ」) ほか全32組

7/24
7/25
7/26

7月24日(金) / 7月25日(土)
10:30~ 18:05~

めし

(1951年 / 97分 / 白黒 / 35mmフィルム上映)
出演:上原謙、原節子、島崎雪子、杉葉子、風見章子
監督:成瀬巳喜男
監修:川端康成 / 原作:林芙美子

些細なことから亀裂を深める夫婦



結婚生活も5年が過ぎ、恋愛結婚をした岡本初之輔(上原謙)と三千代(原節子)の夫婦も、大阪・天神でつましいサラリーマンの生活に明け暮れている間に、いつしか新婚の夢もあせ、わずかなことでいさかいを繰り返すようになっていた。そこへ夫の姪の里子(島崎雪子)が家出して東京から転がり込んできて…。

7月24日(金) / 7月25日(土)
13:20~ 15:45~

おかあさん

(1952年 / 98分 / 白黒 / 35mmフィルム上映)
出演:田中絹代、香川京子、岡田英次、片山明彦、沢村貞子
監督:成瀬巳喜男

都会の下町で困難な状況を生き抜く家族



福原一家は、父が工場の守衛、母(田中絹代)は露店の貽売り、娘の年子(香川京子)はキャンディ売りに精を出したおかげでやっと、戦災で焼失したクリーニング店を再び開くことができた。しかし、父は過労で病床に伏し、病弱な長男の進(片山明彦)は母に会いたい一心で、療養所を逃げ出し息を引き取ってしまう…。

7月25日(土) / 7月26日(日)
13:20~ 10:30~

浮雲(うきぐも)

(1955年 / 123分 / 白黒 / 35mmフィルム上映)
出演:高峰秀子、森雅之、岡田茉莉子、山形勲、中北千枝子
監督:成瀬巳喜男
原作:林芙美子

世界が認めた、”離れられぬ愛”



幸田ゆき子(高峰秀子)は戦時中の昭和18年、農林省のタイピストとして海外へ渡り、同じ農林省の富岡(森雅之)に出会い愛し合う。「妻と別れ君を待つ」という富岡の約束を頼りに帰国したゆき子だったが、終戦後の混乱の中、次々と女を変える富岡の自堕落さを前にしても、それでもゆき子は別れることができない…。

7月25日(土) / 7月26日(日)
10:30~ 13:20~

乱れ雲

(1967年 / 108分 / カラー / 35mmフィルム上映)
出演:加山雄三、司葉子、森光子、浜美枝、草笛光子
監督:成瀬巳喜男
音楽:武満徹

禁断の純愛は青森へ流れ着く…成瀬巳喜男の遺作



江田由美子(司葉子)の夫婦は幸福の絶頂にいた。夫は通産省で米国派遣の辞令を受け、由美子は妊娠していることを知ったばかりだった。だが祝杯をあげて間もなく、夫は交通事故で死んでしまう。告別式の日、事故を起こした三島史郎(加山雄三)が現われ、由美子は史郎に激しい憎悪を感じる。その後、彼は無罪になるが…。

悦び、哀しみ、笑い、暴力、絶望、愛…憂き世は、ただの現実。



北野武 TAKESHI KITANO

主演作『その男、凶暴につき』(1989)の監督を本名で兼任し映画監督デビュー。続く『3・4月10日』で初めて脚本から映画製作に携わり、『あの夏、いちばん静かな海。』『ソナチネ』と強烈な死生観をスクリーンに焼きつけ、海外でも大きな注目を浴び始める。1994年に事故で重傷を負い、再起が危ぶまれたが、1995年に復帰。『HANA-BI』(1998)では、ヴェネチア国際映画祭金獅子賞の他、多くの映画賞を受賞。その後は、日英合作の『BROTHER』(2001)、初の時代劇に挑戦しヴェネチア国際映画祭銀獅子賞(監督賞)を受賞した『座頭市』(2003)、芸術家としての自身を投影した『TAKESHIS』(2005)『監督・ばんざい!』(2007)『アキレスと亀』(2008)等で挑戦を続け、バイオレンス・エンターテインメント『アウトレージ』(2010)『アウトレージ ビヨンド』(2012)が大ヒットを記録。最新作は2015年4月公開『龍三と七人の子分たち』。(写真提供:オフィス北野)



成瀬巳喜男 MIKIO NARUSE

女性の複雑な内面世界を描く世界的な名匠。『チャンバラ夫婦』(1930)で監督デビュー。水久保澄子を起用した『君と別れて』(1933)が出世作となる。戦時下には『三十三間堂・通し矢物語』(1945)などの〈芸道もの〉と、『秀子の車掌さん』(1941)など子供の視点から日常をみつめた秀作を放った。その後、スランプの時期が続くが、1951年、急病で降板した千葉泰樹に代わって『めし』を監督し、高い評価を獲得。以後、林芙美子原作の『稲妻』(1952)『妻』(1953)『晚菊』(1954)を次々に映画化。とくに1955年の『浮雲』は、高峰秀子、森雅之の名演と相俟って、映画史上の傑作となる。女優・高峰秀子との名コンビは晩年まで続き、『女が階段を上る時』(1960)『乱れる』(1964)では中年女性の揺れ動く心理を繊細に表現し、絶賛された。司葉子主演の『乱れ雲』(1967)の撮影中から体調不良を訴え、1969年逝去。(写真提供:映画演劇文化協会)

会場
上映スケジュール・料金

青森県立美術館シアター (青森県立美術館内・青森県青森市安田字近野185)

※各回開場は、上映10分前となります。 ※各回入替制です。

	7/4(土)	7/5(日)	7/11(土)	7/12(日)	7/18(土)	7/19(日)	7/24(金)	7/25(土)	7/26(日)
10:30	キッズ・リターン	菊次郎の夏	その男、凶暴につき	ソナチネ	HANA-BI	Dolls [ドールズ]	めし	乱れ雲	浮雲
13:20	菊次郎の夏	キッズ・リターン	ソナチネ	その男、凶暴につき	Dolls [ドールズ]	HANA-BI	おかあさん	浮雲	乱れ雲
15:45	-	-	-	-	それぞれのシネマ	それぞれのシネマ	-	おかあさん	-
18:05	-	-	-	-	-	-	-	めし	-

	対象作品	前売料金	当日料金
北野武監督作品	キッズ・リターン／菊次郎の夏／その男、凶暴につき ソナチネ／HANA-BI／Dolls [ドールズ] それぞれのシネマ	一般 800円 学生・シニア 600円	各200円増し
成瀬巳喜男監督作品	めし／おかあさん／浮雲／乱れ雲	400円 均一	100円増し
全作品通し券	すべての作品	4,000円 (事務局予約のみの販売)	-

プレイガイド

全 国／ローソンチケット(Lコード:23166)
青 森 市／サンロード青森・成田本店しんまち店・青森県立美術館ミュージアムショップ
弘 前 市／中三弘前店・弘前市まちなか情報センター
五所川原市／ELMインフォメーション
八 戸 市／八戸ポータルミュージアムはっち
※前売券の販売は各上映の前日まで

電話・FAX・Eメール予約

下記の事務局にて、前売券・通し券のご予約が可能です。
(1) 予約者の氏名・連絡先 (2) 希望の上映日・作品名・券種・鑑賞人数 をお申し付け下さい。
※予約受付は、各上映前日の17時まで(通し券は7月10日の17時まで)

【北野武監督作品】主催:青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会 上映協力:株式会社オフィス北野/松竹株式会社/青森映研
【成瀬巳喜男監督作品】主催:青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会/文化庁/東京国立近代美術館フィルムセンター
協賛:松竹ブロードキャスティング株式会社 協力:株式会社オーエムシー

お申し込み・お問い合わせ
青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会 事務局
TEL.017-783-5243 (平日9:00 ~ 17:00) FAX.017-783-5244
Eメールアドレス:eiga@aomori-museum.jp
※個人情報厳重に管理し、本上映会以外の目的では使用いたしません。

- アクセス
 - ・JR新青森駅からルートバスねぶたん号「新青森駅東口」バス停から乗車、「県立美術館前」下車(所要約10分)
 - ・青森駅から青森市営バス「青森駅前6番」バス停から「三内丸山遺跡」行きに乗車、「県立美術館前」下車(所要約20分)
 - ・青森空港から車で約20分
 - ・東北縦貫自動車道青森I.C.から車で約5分
 - ・青森自動車道青森中央I.C.から車で約10分(八戸方面から)